令和８年度妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師認定試験
出題基準と範囲

⑴ 妊婦・授乳婦と周産期医療に関する知識

① 妊娠・出産に関する知識

妊娠・出産の過程、妊婦の生理学的な変化、ホルモンの働きについて説明できる。

② 授乳婦の知識

産褥期の母体の生理学的変化、授乳のメリット・デメリットについて説明できる。

③ 胎児・新生児の知識

胎児・新生児の器官形成・発育、新生児合併症、新生児の生理・代謝機能、薬物療法について説明できる。

④ 妊娠中に合併する疾患についての知識

妊娠可能な女性が罹患する可能性のある下記の代表的な疾患について、疫学、代表的な検査、一般的な治療法、およびそれら疾患自体が妊娠と胎児に与える影響について説明できる。

（悪阻、切迫早産、妊娠高血圧、てんかん、甲状腺疾患、統合失調症、うつ病、糖尿病、リウマチ、喘息等）

⑵ 妊婦・授乳婦の薬物療法に関する知識

妊娠・授乳期に使用される代表的な薬剤について、薬理作用、体内動態などの知識だけでなく、妊婦・授乳婦が使用した薬剤の胎児・乳児への影響について、下記項目を説明できる。

① その薬剤について現在までに行われている疫学研究の結果
② その薬剤について現在までに公表されている症例報告の内容
③ その薬剤について行われている生殖発生毒性試験の内容
④ その薬剤についての情報の限界
⑤ 薬剤と関連する可能性のある奇形の種類や胎児・新生児への悪影響および対処法
⑥ 適切な代替薬

⑶ 栄養・サプリメント・嗜好品の影響に関する知識

① 妊婦・授乳婦にとって必要とされる栄養と、それらの補充を目的としたサプリメントについて、その役割、影響、摂取方法等を説明できる。

② 妊婦・授乳婦が摂取する可能性のある、アルコール、たばこ、その他の嗜好品について、それらの影響等を説明できる。

⑷ 先天奇形・先天異常の知識

代表的な先天奇形の疫学、原因、治療、経過について説明できる。

⑸ 臨床研究に関する知識

症例報告や疫学研究について、それぞれの特徴、メリットとデメリット、限界などについて説明できる。

(6)非臨床試験に関する知識
　特徴、限界などについて説明できる。

(7)生命倫理と法規制
　生殖医療における生命倫理の原則と、医療従事者に求められる倫理的対応について説明できる。

(8)法規制
　妊婦・授乳婦に関連する法律・規制に関する内容について説明できる。

(9)社会的な背景
　妊婦・授乳婦について、社会的な立場や背景等の一般的な内容について説明できる。

(10)妊婦および授乳婦に対する薬物療法に関する情報収集を行うことができる。

(11)情報収集した情報をもとに、胎児、乳児へのリスクとベネフィットの評価を行うことができる。

(12)妊婦・授乳婦へのリスクコミュニケーションについて説明できる。

＜参考図書＞
・令和3年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第2回web）テキスト
・令和4年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第1回Web）テキスト
・令和4年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第2回Web）テキスト
・令和5年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第1回Web）テキスト
・令和5年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第2回Web）テキスト
・令和6年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第1回Web）テキスト
・令和6年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第2回Web）テキスト
・令和7年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第1回Web）テキスト
・令和7年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第2回web）テキスト
・令和8年度 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会（第1回Web）テキスト

・添付文書
・インタビューフォーム
・DRUGS in PREGNANCY and LACTATION 12th Edition／ GERALD G. BRIGGS 他／Wolters Kluwer／2022
・Medications and Mothers Milk　20版／Thomas W. Hale他／SPRINGER PUBLISHING COMPANY／2025-2026
・小児科学／五十嵐 隆編／文光堂／第11版／2023
・病気が見える vol.10　第４版　産科／Medic Media／ 2018
・病気が見えるvol.15　第１版　小児科／Medic Media／ 2022

・ムーア人体発生学　原著第11版／K.L.Moore／医歯薬出版／2022
・標準小児科学　第9版／監修 原 寿郎／医学書院／2022
＜参照ガイドライン＞
・産婦人科診療ガイドライン産科編2026／公益社団法人日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会
・妊産婦メンタルヘルスケアマニュアル～産後ケアへの切れ目のない支援に向けて～改訂版 令和3年4月
・GINA2026(GINA Report, Global Strategy for Asthma Management and Prevention)
・喘息予防・管理ガイドライン2024／監修：一般社団法人日本アレルギー学会 喘息ガイドライン専門部会／作成：「喘息予防・管理ガイドライン2024」作成委員／共和企画／2024
・バセドウ病治療ガイドライン 2019／編集：日本甲状腺学会
・高血圧治療ガイドライン 2025／編集：日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会
・妊娠高血圧症候群の診療指針2021-Best Practice Guide-：日本妊娠高血圧学会
・精神疾患を合併した、或いは合併の可能性のある妊産婦の診療ガイド 精神神経学雑誌第124巻（2022年）別冊Web版：日本精神神経学会・日本産婦人科学会
・周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド2023：日本周産期メンタルヘルス学会
・腎疾患患者の妊娠　診療ガイドライン2017：日本腎臓学会学術委員
・全身性エリテマトーデス（SLE）、関節リウマチ（RA）、若年性特発性関節炎（JIA）や炎症性腸疾患（IBD） 罹患女性患者の妊娠、出産を考えた治療指針2018：「関節リウマチ（RA）や炎症性腸疾患（IBD）罹患女性患者の妊娠、出産を考えた治療指針の作成」研究班
・てんかん診療ガイドライン2018追補版2022：日本神経学会
・「医薬品の生殖発生毒性評価に係るガイドライン」について：令和3年1月29日薬生薬審発0129第8号（2021年）